田川市立病院 NEWS LETTER

ニュースレター VOL.36

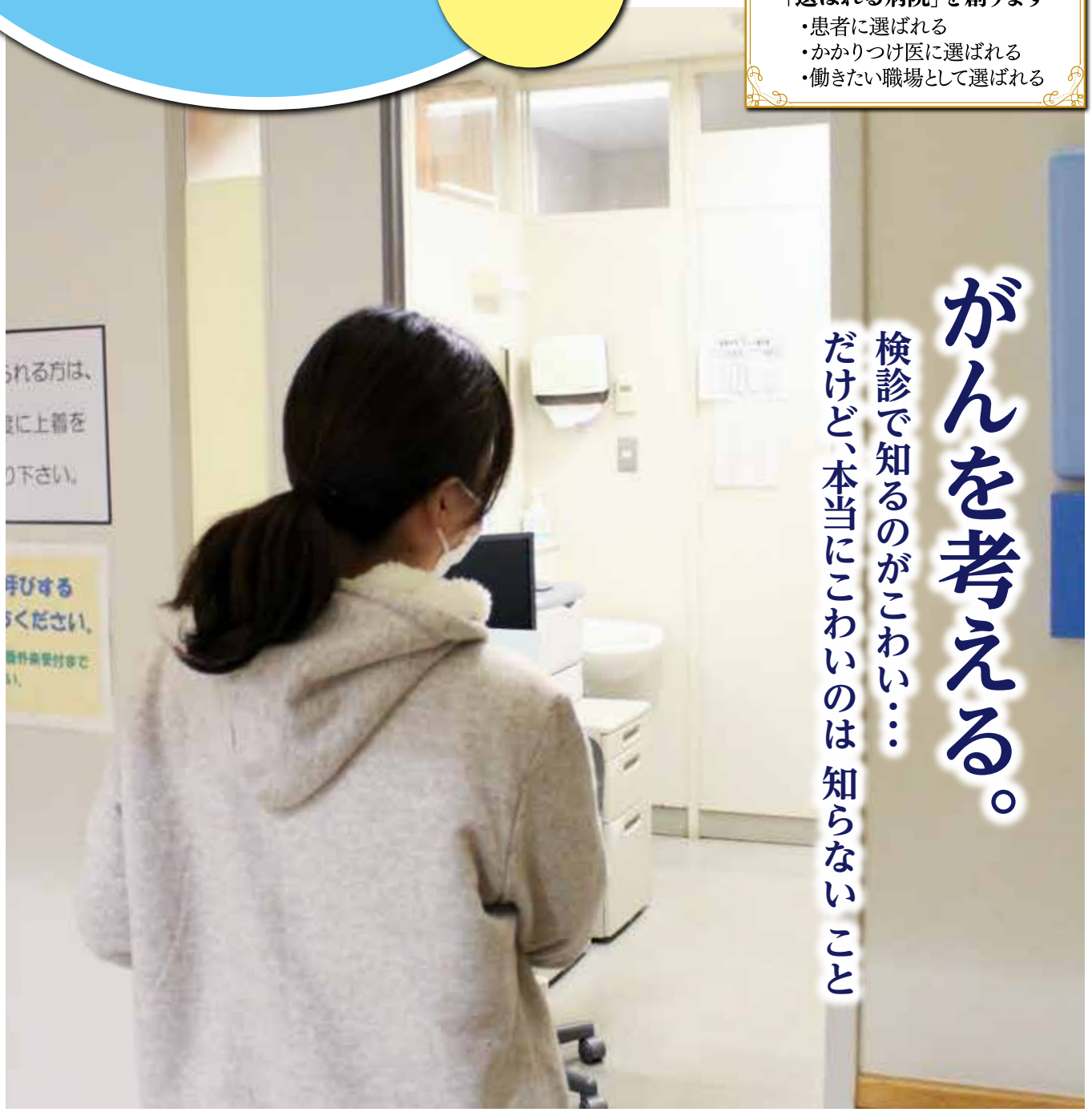
特集 がん治療

2022年 冬号

◆ 基本理念 ◆

病む人に寄り添い、
安全・安心な医療を提供し、
「選ばれる病院」を創ります

- 患者に選ばれる
- かかりつけ医に選ばれる
- 働きたい職場として選ばれる



がんを考える。

検診で知るのがこわい…
だけど、本当にこわいのは 知らない こと

がんの検査・治療、そして緩和ケア

日本人の「2人に1人」ががんになり、「3人に1人」ががんで亡くなっています。
もし自分や家族が「がん」になったら…考えてみましょう「がん」のこと。

がんは死亡原因の第1位

現在、日本でがんは死亡原因の第 1 位となっています。福岡県でも、1977年からがんが死亡原因の第1位を占め、死亡者の 3 人に 1 人ががんで亡くなられています。診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となりつつあります。2020年から新型コロナの流行により、がん検診の受診者が大幅に減りました。コロナ流行下でも、がんは変わらず発生しているため、未発見のがんが多くあると考えられています。

コロナ禍で医療機関への受診を控えていた方や、症状がないため健診を受けていない方などは、検査を受けましょう。

データから傾向を知ろう

がん罹患数の順位（2018年）

	総数	男性	女性
1位	大腸	前立腺	乳房
2位	胃	胃	大腸
3位	肺	大腸	肺
4位	乳房	肺	胃
5位	前立腺	肝臓	子宮

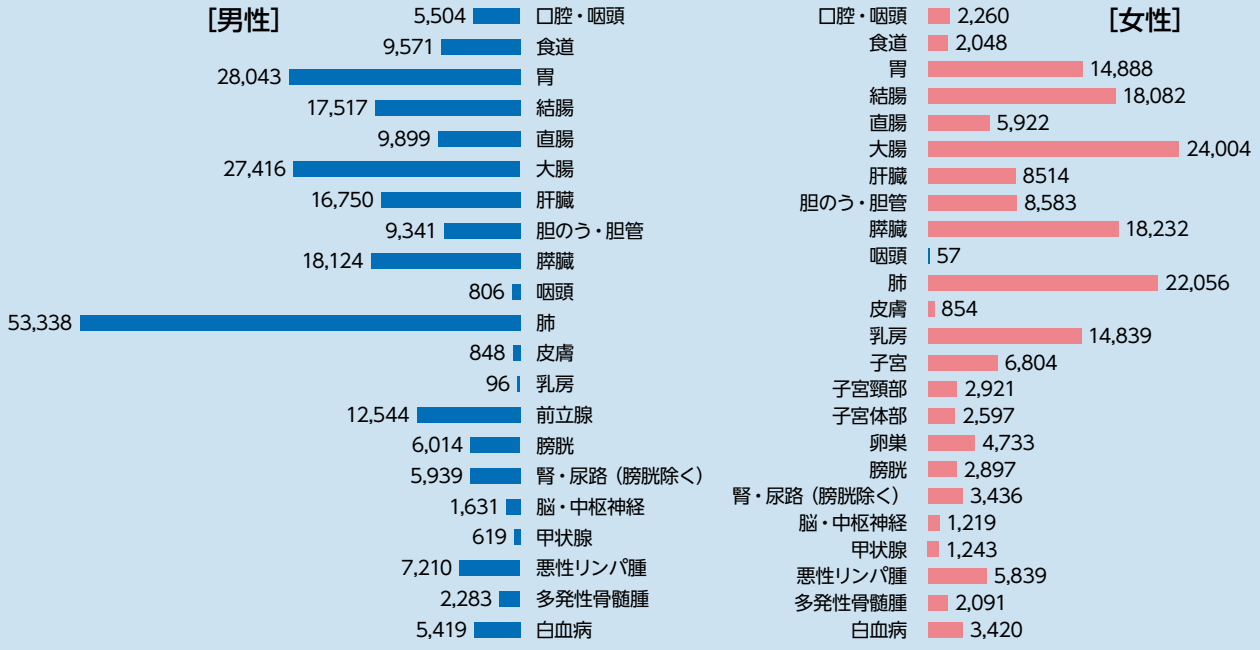
※全国がん登録罹患データ（国立がん研究センター）

がん死亡数の順位（2019年）

	総数	男性	女性
1位	肺	肺	大腸
2位	大腸	胃	肺
3位	胃	大腸	膵臓
4位	膵臓	膵臓	胃
5位	肝臓	肝臓	乳房

※人口動態統計がん死亡データ（国立がん研究センター）

部位別がん死亡数（2019年）



※人口動態統計がん死亡データ（国立がん研究センター）

がん治療は「知ること」からはじまります

自覚症状がなくても
がんは、がん検診や総合健診をきっかけに
発見されることが多くあります。

がん検診

がん検診について、国は５種類（胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がん・肺がん）のがん検診を推奨しており、がん死亡率の減少につながっています。

がんを早期発見し、治療で大切な命を守るために検診を受けましょう。特に「要精密検査」の結果を受け取った場合は、必ず精密検査を受けましょう。結果を知るのがこわいから受診を先延ばしにされる方もおられますが、がんは早期に発見することで薬や治療方法などの選択肢も増え、病気が治る・進行を遅らせることができる可能性が高くなります。

※がん検診は症状がない方を対象としている検査のため、症状のある方は医療機関を受診してください。

■当院でできるがん検診・検査

- 胃がん検診（胃内視鏡検査）
- 子宮頸がん検診（視診・細胞診）
- 乳がん検診（マンモグラフィ）
- 大腸内視鏡検査
- 気管支鏡検査　など

■その他の健診

- 特定健診
- 一般健康診断

※詳しくは春号（６月）でご紹介します。

胃がん検診の流れ

受　付
問診（症状があれば報告）

申し込み
①市（町）の保健センターに検診を申し込んでください。
②保健センターから対象者に受診券が発行されます。
③病院に予約してください（当院でも受けられます）。

当院の場合

胃内視鏡検査
口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の中を観察します。

要精密検査（がんの疑いあり）

精密検査（胃内視鏡検査）
検査で疑わしい部位が見つかれば、生検（組織を採取し、悪性かどうか調べる検査）を行う場合もあります。

がん
治療開始

精密検査不要（がんの疑いなし）

異常なし
次回の検診

特集～がん治療～　がんの検査・治療、そして緩和ケア

■がんの治療

多くのがんでは、がんの進行の程度を「病期（ステージ）」で示します。治療の方法については、医師と患者さん等で相談しながら、年齢や体調、がん以外の病気の有無などを踏まえた上で効果が期待される治療を選択していきます。

治療方法には、手術療法や薬物療法、放射線療法など様々な方法があります。一部のがん（胃がん、食道がん、大腸がんなど）では、早期の場合は内視鏡を使用してがんを取りのぞくことがあります。治療方法は、患者さんの状態に合わせて実施します。

●手術療法（外科治療）

手術でがんを取り除く方法です。がん細胞は、周囲の組織に広がったり（浸潤）、リンパ管や細かい血管に入りリンパ節や他の臓器に広がったり（転移）することがあります。そのため、がんだけでなく、がんができた臓器を大きめに切除する、周囲のリンパ節なども一緒に切除することもあります。

●薬物療法

薬物療法には「化学療法」「内分泌療法（ホルモン療法）」「分子標的療法」などがあります。

薬物療法は、手術療法や放射線療法と組み合わせて行うこともあります。当院では入院治療だけでなく、外来で通院しながら治療する外来治療も行っています。

外来化学療法室

■がん発見からの緩和ケア

がんと診断された時から、緩和ケアは始まります。緩和ケアは、がんなどに伴う体や心のつらさに対する専門的なケアを行います。つらさを緩和して、できる限り普段の生活を送れることを目標としています。

当院では、緩和ケア内科医師や緩和ケア認定看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどによるチームで取り組んでいます。

さらに、令和４年度の「緩和ケア病棟」の開設に向けて準備しています。

【緩和ケア内科外来】

月曜日と木曜日の午後に完全予約制で行っています。

原則的には、現在受診されている病院からの紹介状が必要です。また、在宅での緩和ケアを希望される方にも、できるだけその希望を叶えられるよう相談をお受けしています。

■その他のサポート

当院では、治療と並行して、がん患者さんの状況に合わせて、管理栄養士による栄養指導を行っています。また、身体機能の低下を防ぐためにリハビリテーションも実施しています。

その不安、一人で抱えないで

●セカンドオピニオン・がん相談も

セカンドオピニオンとは、患者さんやそのご家族が、病気に対する診断や治療方針を、主治医とは別の医師にアドバイスを受けることです。

セカンドオピニオン外来（無料・予約制）では、検査や治療は行いませんので、原則として、患者さんの主治医からの紹介状（診療情報提供書）が必要となります。

また、相談窓口を設置しており、各種がん疾患に関連したご相談もお受けしています。

●がんとお金の問題

がんと診断された後、医療費や生活費などお金のことも不安になるかと思います。

患者さんの経済的な負担や不安を少しでも軽くするために、高額療養費制度・疾病手当金などの活用できる制度などもご紹介しています。

患者さんやご家族の不安を少しでもなくせるよう、全力でサポートしますので、まずは当院医療支援センターまでご連絡ください。（代表 ☎0947-44-2100）

「院内がん登録」

あなたの医療に活かされています

「院内がん登録」は、がん医療の提供を行う病院で、がん医療の状況を的確に把握するため、診療したがんの罹患、診療、転帰等に関する詳細な情報を記録し保存する仕組みです。田川市立病院でも「院内がん登録※」を実施しています。

※田川市立病院223症例登録（令和２年）

＜院内がん情報の活用例＞

病院では、がんに関する状況を的確に把握し、治療の結果等を評価したり、他院の評価と比較したりして適切な医療を提供するために活用しています。

院内がん情報等を国立がん研究センターが全国規模で収集し、その情報を基にしたがん統計等の算出等を行い、公表することで行政ががん医療の分析・評価をし政策等に活かしています。

がんに関する情報を調べる時は？

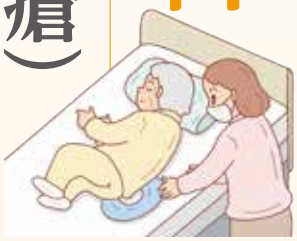
がん情報サービス（国立がん研究センター）

がんについて、様々な情報をインターネットや本、雑誌等から得ることができますが、医療は日々進歩していますので、最新の正しいデータや根拠等信用できるところから情報を得るようにしましょう。

ここでは、国立がん研究センターの運営している「がん情報サービス」を紹介します。　病気のことや検査方法、治療方法、臨床試験、検診、がんの統計などを調べる時にも便利です。

形成外科

床ずれ（褥瘡）
～予防と早期受診を～



床ずれ（褥瘡）は、体重で長時間圧迫されて血流が悪くなった部位の皮膚などの組織が損傷されることをいいます。

健康な方は組織が損傷される前に痛みを感じますので、じっとしていられず、寝返りや座り直すなど自然に動くため床ずれはできません。しかし、自分では痛くても動けない方や糖尿病・脳卒中・脊髄損傷などで痛みを感じない方などは床ずれができます。

■床ずれの予防

床ずれは数時間でできてしまいますので、予防には2時間ごとの体位変換が必要です（エアーマットなどを使用する場合は、体位変換の間隔をもう少し長くしてよいとされています）。

床ずれは圧迫された時間と圧迫の力の大きさによって重症度が決定されます。

床ずれができる部位はほぼ決まっており、仰向けに寝ている時の仙骨部（臀部中央）や踵骨部、座っている時の坐骨部（臀部と大腿の境目）、横向きに寝ている時の大転子部（太ももの付け根の横の部分）と腸骨稜部（腰の横の部分）などです。

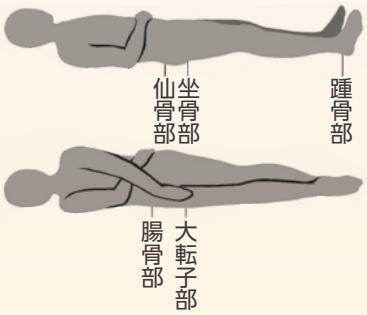
床ずれは軽症では赤くなる程度ですが、重篤になるにつれ水ぶくれができたり、さらには皮膚が完全に壊死して真っ黒になり、その下の脂肪や筋肉も壊死します。

床ずれは数時間と短時間でできますが、治療には長期間を要します。そのため、体位変換などの予防が大切です。不幸にして床ずれができた場合は、適切な治療をしないと感染して重篤な状態になる可能性がありますので、形成外科や皮膚科などへの早期受診が必要です。

■治療等

局所の治療は壊死組織の除去や創の洗浄、軟膏塗布などを行い、感染対策と創治癒を図ります。また、手術を行って創を閉鎖する場合もあります。

床ずれ好発部位（例）



初期の状態（治療前）

壊死した皮膚を除去

慢性期の状態

スタッフ

柳澤（やなぎさわ）　明宏（あきひろ）　部長（平成元年卒）

［主な所属学会及び取得資格］
形成外科機構専門医
日本形成外科学会領域専門医
日本熱傷学会熱傷専門医
日本創傷外科学会創傷外科専門医
皮膚腫瘍外科分野指導医

トピックス

緊急時に備え、隊員を支える

DMATカーの導入

当院は、災害拠点病院であり、DMAT※が活動しています。令和３年に念願の DMAT カーを導入しました。車内には、医療器材等を設置しており、災害医療活動を行う隊員を支え、被災地での患者搬送など、より迅速に対応することができるようになりました。

詳しくは、当院ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

※DMAT（災害急性期に活動できる機動性を持ち、被災地へ迅速に駆けつけ救急医療を提供するための専門的な訓練を受けた医療チーム）

詳しくはこちら→

より迅速に対応するため

看護師特定行為研修

令和３年12月24日に、福岡県立大学看護実践教育センターの看護師特定行為研修の終了式が福岡県立大学で開催されました。

当院の３人の看護師が第１期生として修了証書を手にしました。終了した区分は、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が３人、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」が１人です。

特定看護師になると、終了した特定行為区分の処置を医師の指示を待たずに、手順書を確認しながら行うことができます。

病状の変化により、看護師が迅速に対応できるようになるため、患者さんの早期回復に繋がるとして期待されています。

病院・医療への壁をなくす

SNSで見える病院に

当院では、より身近に病院や医療のことを感じてもらえるよう SNS を積極的に活用しています。

Facebook では、うさっちょが病院の裏側や医療情報など約650件紹介しており、田川市や近隣の飯塚市、福岡市の方など約500人の方にフォローいただいています。

Instagramでは、約740人の方にフォローいただいており、赤ちゃんや病棟の紹介等をしています。助産師等が出産時の様子やメッセージを写真に添えており、お母さんやご家族が投稿を心待ちにしてくれているなど嬉しい声を多くいただいています。

SNS をされてない方も当院ホームページから閲覧できますので、ぜひご覧ください。

田川市立病院 Facebook

産婦人科・小児科 Instagram

一人ひとりが考え、病院の成長へ

ＴＱＭ活動

「TQM」とは、Total Quality Management のことです。医療機関では、患者さんにとって何がよい医療なのか、それを実現するには何をしたらよいのかを考え、足りない点の改善、患者サービスの向上、医療の質の向上、経費節減、さらに職員の「働き方改革」にもつなげていく活動です。

令和３年度は、コロナ禍で大変な時期だからこそ、一人ひとりがより良い病院となるよう考え、患者サービスや医療安全、業務の効率化など各部署がテーマを決め、19のチームが改善に向けて取り組んできました。

２月には発表を行い、各部署の取組を共有し、活用していきます。

令和４年1月４日現在

田川市立病院 外来診療担当医

新患 新しく受診される患者さん　再来 当院を受診され、予約をしている患者さん

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	新患	–	塚原 慧太 (産業医科大学)	瀬戸山 航史 (産業医科大学)	宮本 太郎 (産業医科大学)	井上 航之祐 (産業医科大学)
	再来		–	細川 和也 (九州大学) 瀬戸山 航史 (産業医科大学)	–	木下 聡子 (九州大学)
消化器内科	新患	岸　昌廣	土居 雅宗 (福岡大学筑紫病院)	平塚 裕晃	児嶋 宏晃	非常勤医師 (福岡大学筑紫病院)
	再来	–	平塚 裕晃	児嶋 宏晃	岸　昌廣	–
腎臓内科	新患	大仲 正太郎	–	吉田 健	北村 博雅(第1・3) (九州大学) 相原 成志(第2・4・5) (九州大学)	今村 克郎
	再来	今村 克郎	大仲 正太郎	–	遠矢　遥	吉田 健
	腹膜透析外来・ 腎不全SDM外来(療法選択)	–	吉田 健	今村 克郎	大仲 正太郎	–
糖尿病 内分泌内科	新患	–	–	[糖尿病] 横溝 久(九州大学)	–	–
	再来	[糖尿病] 横溝　久 (九州大学)	[糖尿病] 佐藤 直市 (九州大学)	[内分泌] 井林 雄太(九州大学) 名誉院長 池田 喜彦(第4のみ)	–	[糖尿病] 新城 明仁(九州大学) 【午後診療】第1・3・4 [糖尿病] 藤原 寛子(九州大学)
呼吸器内科	新患	–	–	–	赤池 幸歌	–
	再来	–	赤池 幸歌	–	–	–
肝臓内科	新患	–	徳松 誠 (九州大学)	–	–	–
	再来	青柳 知美 (九州大学)		–	–	–
神経内科	新患(要予約)・再来	–	–	福元 尚子／田中 栄蔵 (九州大学)	–	–
緩和ケア内科	新患(要予約)・再来	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	–	–	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	–
総合診療科	新患	岡﨑 裕子	吉田 圭希	–	–	奥津 翔太 (福岡大学病院)
	再来	–	–	–	岡﨑 裕子	吉田 圭希
小児科	新患・再来	馬場 晴久	金政 光	馬場 晴久		金政 光
	再来	循環器外来(第2午後) 山村 健一郎 (九州大学)	新生児外来（午後） 当番医	血液・免疫(第1午後) 大賀 正一(九州大学) (第3午後) 古賀 友紀(九州大学) 腎臓外来(第4午後) 岩屋 友香(九州大学)	–	神経外来(第1・3午後) 非常勤医師(九州大学)
外　科	新患・再来	松隈 哲人 藤中 良彦	丸山 晴司 乳腺外来 鴻江 俊治	丸山 晴司 高橋 郁雄	松隈 哲人 藤中 良彦 血管外科外来(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	高橋 郁雄 松隈 哲人
呼吸器外科	新患・再来	–	(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	–	–	–
整形外科	新患・再来	久枝 啓史 新井 貴之 木下 英士	久枝 啓史 櫻井 立太 原田 知(九州大学)	新井 貴之 木下 英士 宮房 玲奈	久枝 啓史 新井 貴之 川口 健悟(九州大学)	久枝 啓史 櫻井 立太 宮房 玲奈
形成外科	新患・再来	柳澤 明宏	柳澤 明宏	–	柳澤 明宏	柳澤 明宏
皮膚科	新患・再来	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子
泌尿器科	新患・再来	青柳 力夫 (福岡大学)	森 直樹	森 直樹	森 直樹	森 直樹 非常勤医師(福岡大学)
産婦人科	産科(妊婦検診)	–	藤田 拓司	吉田 祥子	椎名 隆次	瓜生 泰恵
	婦人科 新患 ※藤田医師の新患は ありません	–	吉田 祥子／瓜生 泰恵	椎名 隆次	瓜生 泰恵	吉田 祥子
	婦人科 再来	–	椎名 隆次	瓜生 泰恵	吉田 祥子	藤田 拓司 【午後診療】藤田 拓司 受付時間：13時30分～15時
眼　科	新患・再来	永戸 天	永戸 天 塩瀬 聡美 (九州大学)	永戸 天 下川翔太郎／森 賢一郎 (九州大学)	永戸 天	永戸 天
耳鼻咽喉科	新患・再来	–	非常勤医師 (産業医科大学)	–	–	【午後診療】 非常勤医師(産業医科大学) 受付時間：13時30分～15時30分
麻酔科	新患(要予約)	–	–	–	–	–
	再来	[疼痛]小山 稔(非常勤)	–	–	–	–
歯科・歯科口腔外科	新患・再来	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千

田川市立病院 TEL：0947-44-2100
外来受付時間：午前8時30分～午前11時

※診療科によって、急に休診となる場合がありますので、気軽に電話でお問合せください。

ホームページ　Facebook　インスタグラム

〒825-8567　福岡県田川市大字糒1700番地2／ TEL 0947-44-2100 ／ FAX 0947-45-0715
企画・発行 田川市立病院 経営企画課